

# 平成30年度採択 前立腺がん骨転移の診断キットの研究開発

## 株式会社ハカレル（大阪府） 主たる技術：バイオに係る技術

- ・前立腺がんの骨転移は患者の予後に大きく影響するが、その検査は組織生検など侵襲性が極めて高い。
- ・血液検査で骨転移を調べるためのマーカーとしてCDCP1陽性エクソソームが同定された。
- ・その定量測定法は、患者の負担が小さく、骨転移の有無を調べる方法として、開発が期待された。

### 研究開発の成果

#### ■ 抗CDCP1モノクローナル抗体の作製

- ・動物細胞でヒトCDCP1蛋白を発現・精製した。
- ・CDCP1蛋白をマウスに免疫し、22クローンの抗体を取得した。

#### ■ CDCP1陽性エクソソーム測定キットの作製

- ・CD9抗体、CD63抗体との組み合わせから、各3組の高感度サンドイッチELISAを構築した。
- ・CDCP1陽性エクソソームを10～250ngの範囲で測定することができた。

#### ■ 臨床検体を用いたCDCP1陽性エクソソーム測定

- ・臨床検体中のCDCP1陽性エクソソーム量は、ELISAの検出限界以下であり、臨床的意義は見出せなかった。検体中のエクソソームを濃縮する前処理法の開発が望まれる。



### 研究体制

事業管理機関：株式会社ハカレル

学校法人東京医科大学

### 当該研究開発の連絡窓口

所属・氏名：代表取締役 園田 光  
E-mail：hsonoda@hakarel.com  
電話番号：072-657-9980